

## 運転士の皆さん乗泊先で 睡眠不足ではないですか！

**睡眠不足を解消し、安全な行路の改善、変更が必要である。**

行路によっては23時、24時頃近くに乗泊先に到着し、シーツの設置、お風呂と、乗泊に到着後、全く休息のいとまもなく時間の余裕がありません。明日の乗務のためにただ単に、睡眠を取ることに全力を尽くすのみである。そのために、疲れた体でもお風呂にも入らず、睡眠時間を取るために布団に入る人もいる。この状態でいい仕事ができるだろうか。乗務員は人間である。睡眠不足による安全上の問題はないのだろうか。新幹線運行のためにはしかたがないとするのか。このような状態が続けば睡眠負債になり、新幹線の安全運行に危険を及ぼすのではないか。睡眠時間の少ない行路は事故の原因にもなる。

安全確保のためには乗務員を守り、行路の改善、変更が必要である。

「新幹線の安全安定輸送」には、乗務員の健康が一番重要ではないか。しかもコロナ禍の中、感染をしないように自粛を行い会社に貢献しているのである。会社は、社員の安全と健康のために、睡眠がしっかり取れる行路をつくるべきである。そのために、睡眠不足になる行路を分割変更するなど、要員を確保するべきである。

### **乗泊先の睡眠時間の少ない行路を分割**

### **要員を増やして安全対策を取るべきである！**

新幹線の速度向上に伴い、乗務員の労働条件が悪化していませんか。

長時間拘束、長時間労働、睡眠時間の減少、乗務員が疲労しています。

最近、停止位置不良が多発している。これも睡眠不足や労働強化による疲労による一つの要因ではないだろうか。

会社は、睡眠時間確保のためにも、年休裁判においても経費削減のために人件費を抑え、恒常的な要員不足を解消し、安全運行に努めるべきである。